第2回岡山市場再整備検討委員会

再整備事業コンセプト（修正案）

資料２

再整備事業コンセプトの背景とコンセプト（修正案）

将来構想のポイント

将来像

“岡山市場らしさ”を創造し、磨き上げる
～「オール岡山市場」でチャレンジ !! ～

- 市場機能は将来にわたって必要不可欠
- 市場規模のコンパクト化、 独自性を活かした集荷・販売、まちづくり等を推進
- 未来を創造する新しいチャレンジを「オール岡山市場」で推進

岡山市場の再整備事業のポイント

- 持続的な市場経営に向けて、再整備によって機能強化を図る一方で、**再整備後の使用料負担が過度に大きくならないよう、総事業費を抑制する**。
- 周辺他市場で再整備が進められるなかで、**岡山市場の競争力を高めるために、可能な限り早期に、再整備を完了することが望ましい**。
- 再整備事業の推進にあたっては、**場内事業者をはじめとする市場関係者との密な対話を重ね、丁寧に合意形成を図る**ことを前提とする。

第1回再整備検討委員会及び作業部会の意見

- 必要な機能を実現するための**基盤・インフラの整備**にも合わせて取り組む必要がある。
- 施設の利用効率と将来の変化に対する柔軟性を高める**“スマート化”**に取り組んだ結果として、施設の適正化・コンパクト化が図られることが重要である。

再整備事業コンセプト（修正案）

機能

岡山の豊かなくらしをつなぐ施設・機能の整備

- **「産地・販売先」**に選ばれる食料流通拠点機能の強化（品質管理、コールドチェーン、加工、転配送等）
- **「市場関係者」**の働きやすさを高める施設の整備・運用（動線、DX、ユニバーサルデザイン等）
- **「市民」**に開かれたまちづくり機能の整備（食をテーマとした賑わい・教育、防災等）
- 各機能を実現するための基盤・インフラの整備

つなぐ市場、つづく未来へ。
～岡山市場再整備～

手法

未来へつづく持続性の追求

- 施設の効率性・柔軟性を高める“スマート化”
- 将来取扱数量に即した**施設の適正化・コンパクト化**
- **余剰地活用**を含む様々な事業手法・民間活力導入の可能性を検討
- 将来の社会環境変化に対応できる、**可変性・拡張性**のある施設整備

プロセス

最短距離での再整備の実現

- 目標となる事業費・使用料水準を関係者間で共有し、**実現可能な再整備計画**を検討
- 事業全体の**工期の短縮を重視**し、再整備事業の早期完了を実現
- 開設者と市場関係者間の**密な対話・合意形成**